

各 位

東京都葛飾区立石三丁目 19 番 3 号
株 式 会 社 ユ ー ジ ン
代 表 取 締 役 社 長 田 中 延 茂
(コード番号：7828)

問い合わせ先：
常務取締役管理本部長 松 葉 光 雄
電 話 番 号 03 (3696) 6001(代表)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 2 月 12 日開催の取締役会において、平成 19 年 5 月 11 日付で発表した平成 20 年 3 月期の業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成 20 年 3 月期業績予想の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(修正内容)

・連 結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	10,507	495	475	248
今 回 修 正 (B)	9,764	△289	△305	△292
増 減 額 (B-A)	△743	△784	△780	△540
増 減 率	△7.1%	—	—	—
前 期 実 績	9,919	0	5	△160

・単 体

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	7,800	348	357	192
今 回 修 正 (B)	6,638	△23	△23	△17
増 減 額 (B-A)	△1,162	△371	△380	△209
増 減 率	△14.9%	—	—	—
前 期 実 績	7,642	44	72	△127

(修正理由)

売上面では、連結、単体とも主力であるトイベンディング事業について、国内で当初は下期からの売上増加を見込んでおりましたが、これに反し、市場が低迷するなか、厳しい状況が続いていることに加え、その他トイ周辺事業において、コンビニエンスストア向け商品の人気の一巡に伴う販売不振が響き、前回(当初)予想を下回る見込みであります。ただ、連結ベースでは米国販売子会社の売上がカナダ、メキシコなど販売地域の拡大やポケットモンスター関連商品の人気により、引続き好調に推移しているほか、今下期より新たに連結対象子会社となった(株)ペニイの売上が寄与するため、単体と比較して小幅な修正となりました。

利益面では、連結、単体とも香港に設立した生産統括子会社の本格稼働により、商品の仕入に係る売上原価率が前期比ではやや改善するものの、中国における雇用、物価面など生産環境の変化もあり、同原価率について本格稼働による大幅な改善を想定した前回予想の水準には達せず、売上高の減少と相まって、各段階損益で損失となる見込みであります。特に連結ベースでは、新設子会社(株)アクロスウェーブにおいて、新菓子ベンディング事業の拡大に向け、人件費、研究開発費等の負担が増えるため、単体よりも損失が拡大すると予想しております。

2. 平成20年3月期末配当予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（修正内容）

（単位：円）

	中間期	期 末	年 間
前 回 予 想 (A)	0.00(実績)	2,100.00	2,100.00
今 回 修 正 (B)	—	0.00	0.00
増 減 額 (B－A)	—	△2,100.00	△2,100.00
増 減 率	—	△100.0%	△100.0%
前 期 実 績	0.00	0.00	0.00

（修正理由）

上記のとおり、平成20年3月期の業績は前回（当初）予想から悪化する見込みであり、このような厳しい状況や当社の財務状況を勘案し、誠に遺憾ながら無配とさせていただくことといたしました。

3. 今後の取組みについて

以上の状況を踏まえ、当社では現在、業績の回復と持続的な成長、継続的に配当のできる経営体制の確立に向け、組織改革を含めた抜本的な施策を鋭意検討するとともに、これを盛り込んだ新たな中期経営計画を策定しているところであります。今後、この施策の実施と計画の達成に全社一丸となって取組んでまいります。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報と、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上